

# 台北 博愛地区の歴史的建造物 ～ 總統府、迎賓館、台湾銀行、中正紀念堂など

テーマ:文化



台北駅南側に広がる博愛地区は、日本統治時代から中華民國時代へと続く建築が現在も現役で活用されている、台湾近代史の縮図ともいえるエリア。

破壊されることなく受け継がれてきた建物群は、政治・金融・文化の中核として、今なお台湾社会を支えている。

近代史を語る建築群：總統府、台湾大学医学院(旧館)、国立台湾博物館、国立台湾博物館、台北賓館、中正紀念堂ほか

## 企画視点

主要都市からのアクセス

<https://maps.app.goo.gl/3t8MsoKQucsUMSdF9>

主要都市:台北

台北駅から片道およそ 10 分

駐車場から目的地まで駐車場:なし

(下車後は平坦な道のり

周辺の地図

旅行会社の企画視点



台北市内中心部に点在していることから、徒歩や短時間の移動で主要な歴史建築を巡ることが可能。

日本統治時代から現代までの台湾近代史を体感でき、市内観光コースに組み込みやすい。

政治・文化施設が集中し、歴史解説型の台北散策ルートとして企画しやすい。

## 地域資源の視点

日本統治時代から中華民国時代に至る建築が現役で残る台北近代史の核心エリア。政治・金融・文化施設が集積し、歴史的建築群が都市景観とともに継承される、台湾の近代化の歩みを伝える重要な都市文化資源。

## 関連情報リンク先

台湾観光庁

<https://jp.taiwan.net.tw/m1.aspx?sNo=0003090&id=137>

問い合わせ先:台湾観光協会庁